



2026年3月期 決算説明会

株式会社オーバル 代表取締役社長 谷本 淳

2026年6月4日

目次

- ／ 1. 2026年3月期決算概況
- ／ 2. 中期経営計画「Imagination2028」概要・進捗
- ／ 3. 参考資料

1. 2026年3月期 決算概況



2026年3月期実績：増収・大幅増益

- システム部門は前年度の大口受注の反動により下振れも、センサ部門・サービス部門は堅調
- Anton Paar GmbHとのライセンス契約に伴う一時金の収受も増収増益を後押し
- 営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は、前年度比大幅増

2026年3月期施策：収益性改善に向けた取り組み強化

- 販売単価の改善および収益性の高い製品を中心とした販売構成の改善
- システム事業における収益性改善が進展

2027年3月期予想：増収増益の見通し

- 売上高は過去最高水準を想定
- 原材料費・人件費の増加は見込まれるものの、販売単価の改善および継続的なシステム部門の収益性改善などにより、利益はいずれも2026年3月期を上回る見通し

センサ部門・サービス部門が堅調に推移し、売上高は前期比3.6%増

営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益はいずれも前年度を大幅に上回る

単位：百万円

	2025年3月期	2026年3月期	前期比	増減率
売上高	15,048	15,589	540	3.6%
売上原価	8,916	8,939	23	0.3%
売上総利益	6,132	6,649	517	8.4%
販管費	4,710	4,946	236	5.0%
営業利益	1,422	1,703	280	19.7%
営業利益率	9.5%	10.9%	-	-
経常利益	1,444	1,771	327	22.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,029	1,400	370	36.0%

事業部門別受注高・受注残高



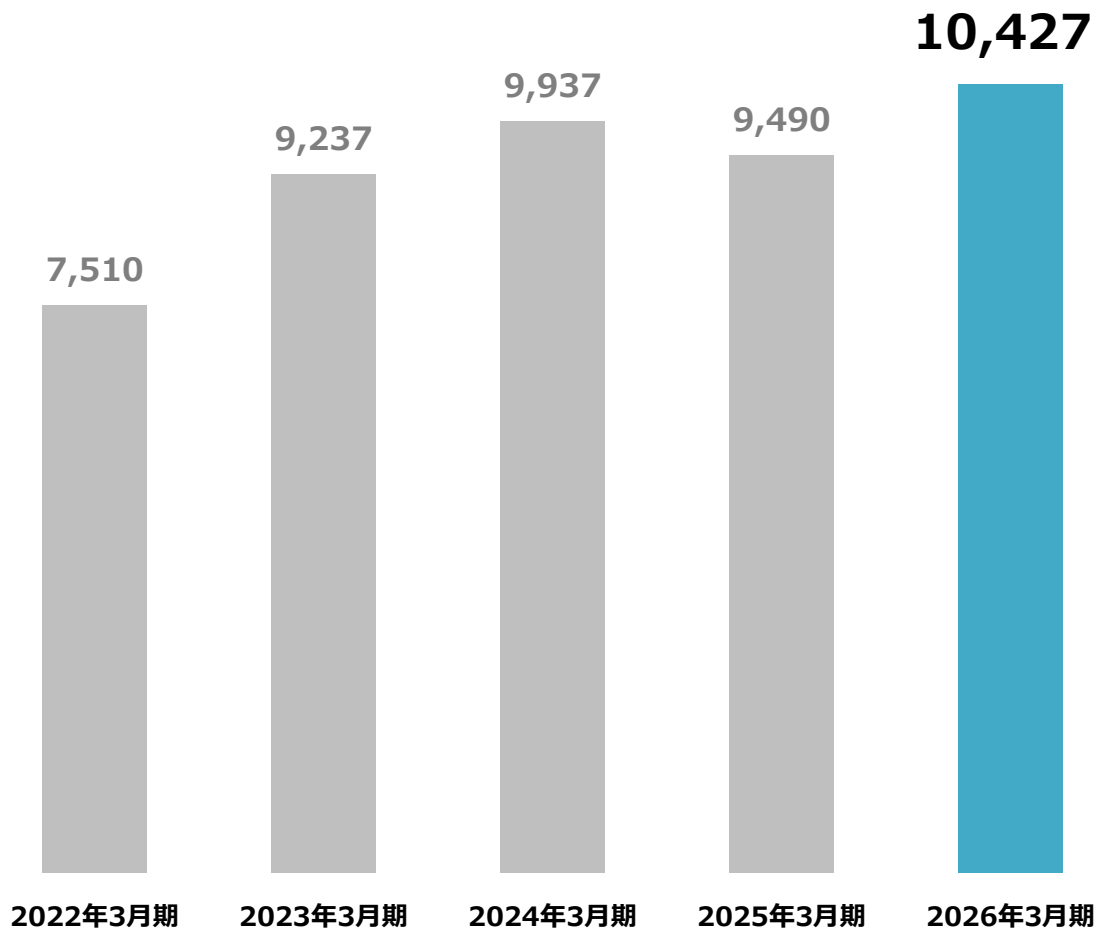
- センサ部門** : 国内の半導体関連業界向けが回復し、石油関連業界向けは好調に推移
海外では、中国において船舶関連業界や電池関連業界が堅調に推移
- システム部門** : 前年度に大口受注が集中した反動で、受注高は前年度を下回る
- サービス部門** : 保全サポートサービス、他社製品校正業務受託が堅調に推移。受注高は6期連続で増加

単位：百万円

	2025年3月期	2026年3月期	前期比	増減率
受注高	14,502	15,095	592	4.1%
センサ部門	8,410	9,759	1,348	16.0%
システム部門	3,022	2,161	-861	-28.5%
サービス部門	3,068	3,174	105	3.4%
受注残高	4,995	4,501	-493	-9.9%
センサ部門	3,332	2,664	-668	-20.1%
システム部門	1,560	1,735	175	11.3%
サービス部門	102	101	-1	-1.0%

単位：百万円

センサ売上推移



国内

- 化学関連業界向けが好調
- 半導体関連業界向けが回復

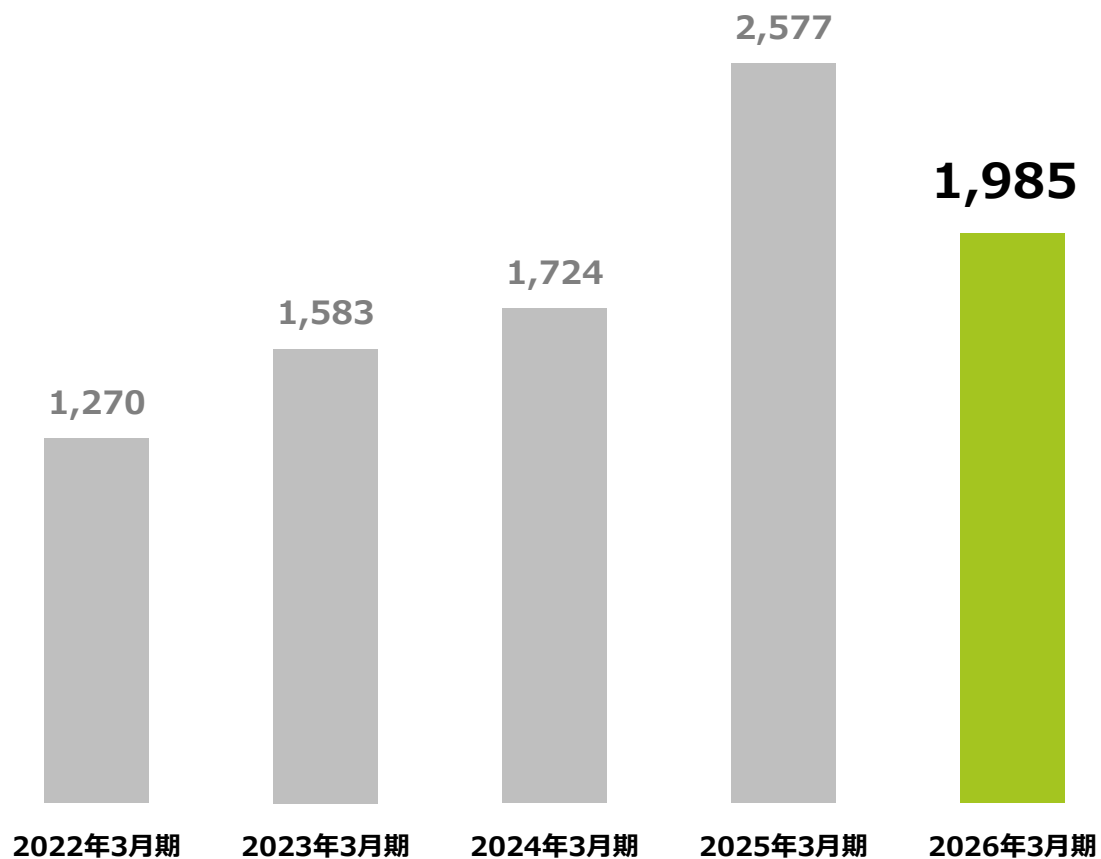
海外

- 中国において船舶関連業界向けが好調

前期比 **+9.9%**

単位：百万円

システム売上推移



国内

- ・ 前年度に大口受注が集中した
- ・ 反動で前年度を下回る

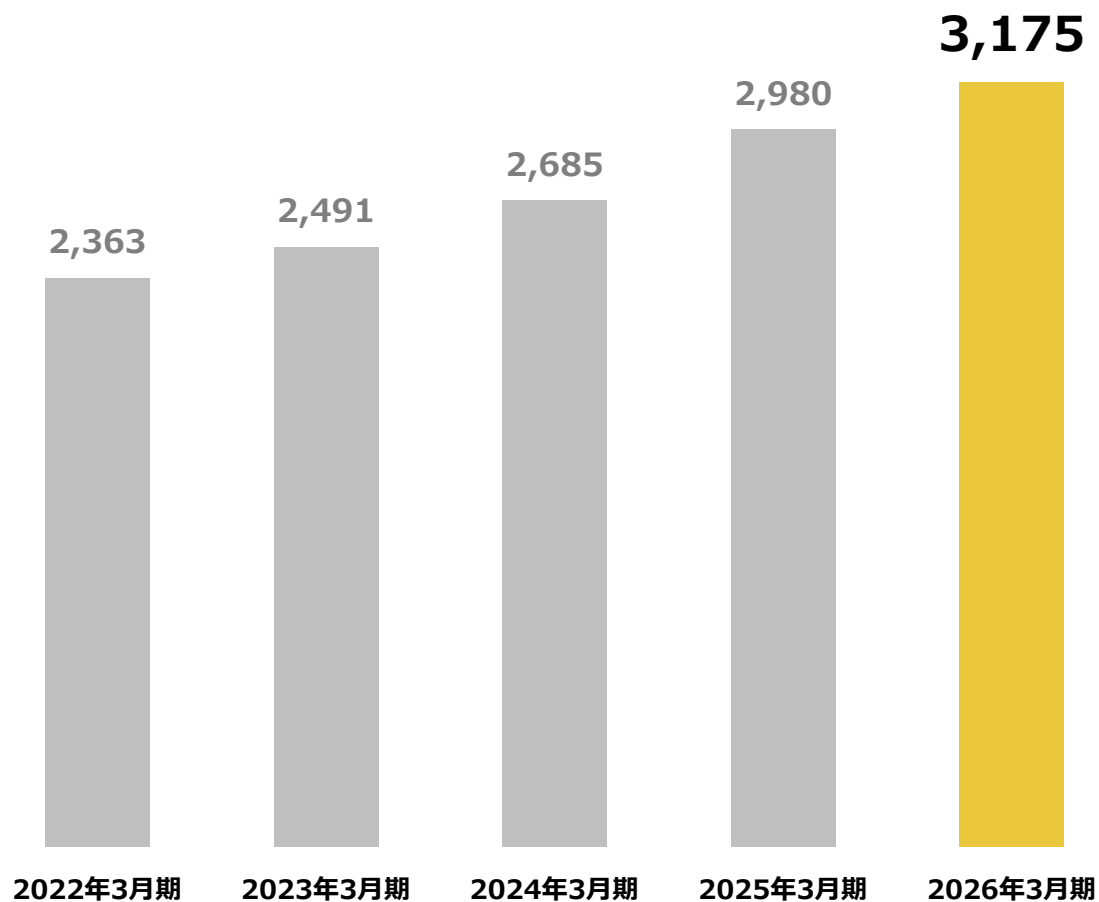
海外

- ・ シンガポール連結子会社の
- ・ 大口案件の進捗により一定の計上

前期比 **-23.0%**

単位：百万円

サービス売上推移



国内

- 化学関連業界向けおよび石油関連業界向けが堅調に推移
- 受け身から攻めのサービスに転換し、長年の経験とノウハウを活かした他社製品の校正や提案型のメンテナンスサービスを展開

前期比 **+6.6%**

出荷元の国別売上高



単位：百万円

	2025年3月期	2026年3月期	構成比	増減率
日本	11,914	12,390	79.5%	+4.0%
海外	3,134	3,198	20.5%	+2.1%
合計	15,048	15,589	100.0%	+3.6%
(海外内訳)				
中国	756	979	30.6%	+29.5%
韓国	1,106	874	27.3%	-21.0%
シンガポール	484	820	25.6%	+69.1%
台湾	238	215	6.7%	-9.8%
マレーシア	389	206	6.4%	-47.0%
米国	158	102	3.2%	-34.9%
小計	3,134	3,198	100.0%	+2.1%

主な増減要因

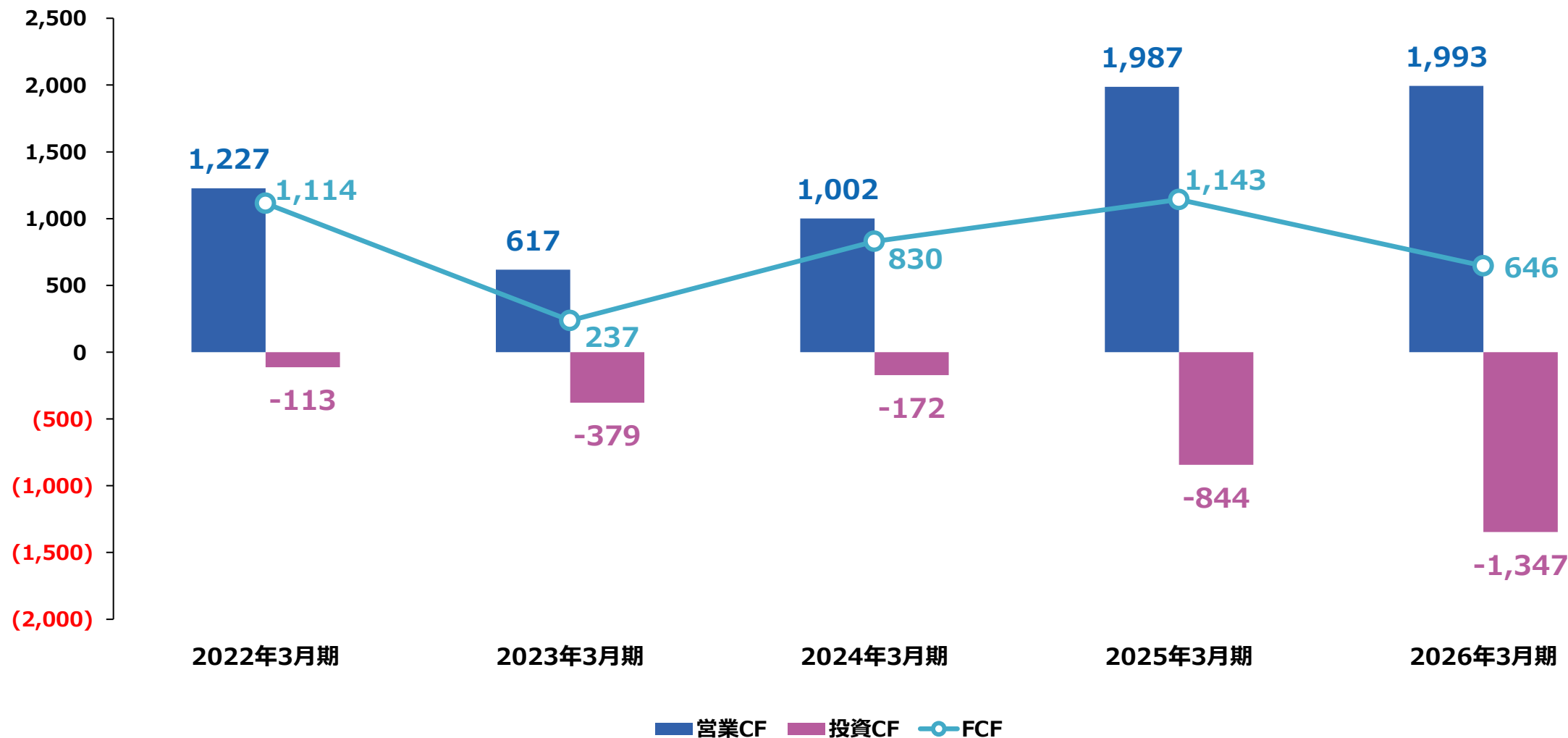
国内

- センサ部門およびサービス部門が堅調に推移

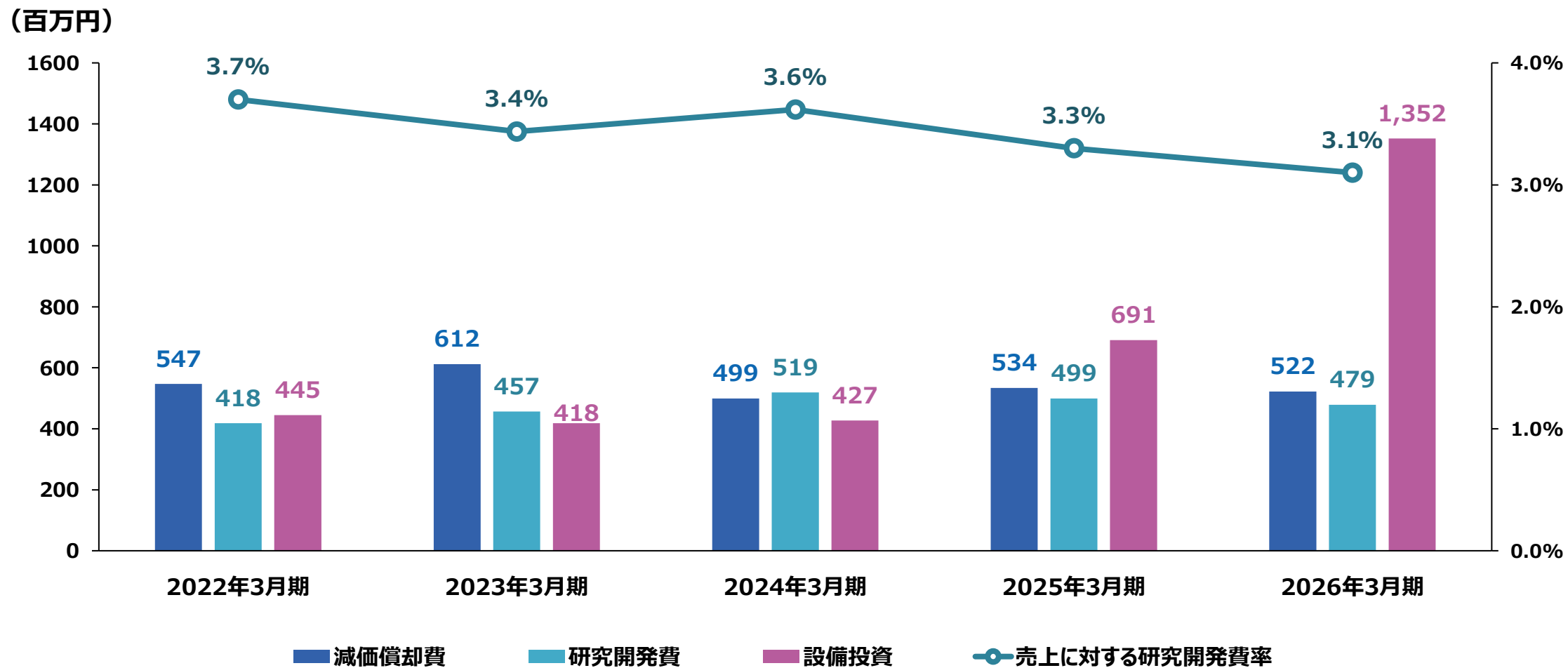
海外

- シンガポールで大口システム案件
- 中国は船舶関連業界向けが好調

(百万円)



設備投資：OVAL H₂ Lab、中国子会社の新工場建設等



連結貸借対照表



単位：百万円

	2025年3月期	2026年3月期	前期末比
流動資産	13,452	12,425	-1,026
固定資産	11,041	12,285	1,244
資産合計	24,493	24,711	217
流動負債	4,554	4,207	-347
固定負債	3,618	4,288	670
負債合計	8,172	8,495	322
純資産	16,320	16,215	-104
負債・純資産合計	24,493	24,711	217

主な増減要因

流動資産

売掛金 -753

固定資産

有形固定資産 +887

流動負債

契約負債 -158

固定負債

長期借入金 +768

2027年3月期 通期連結業績予想



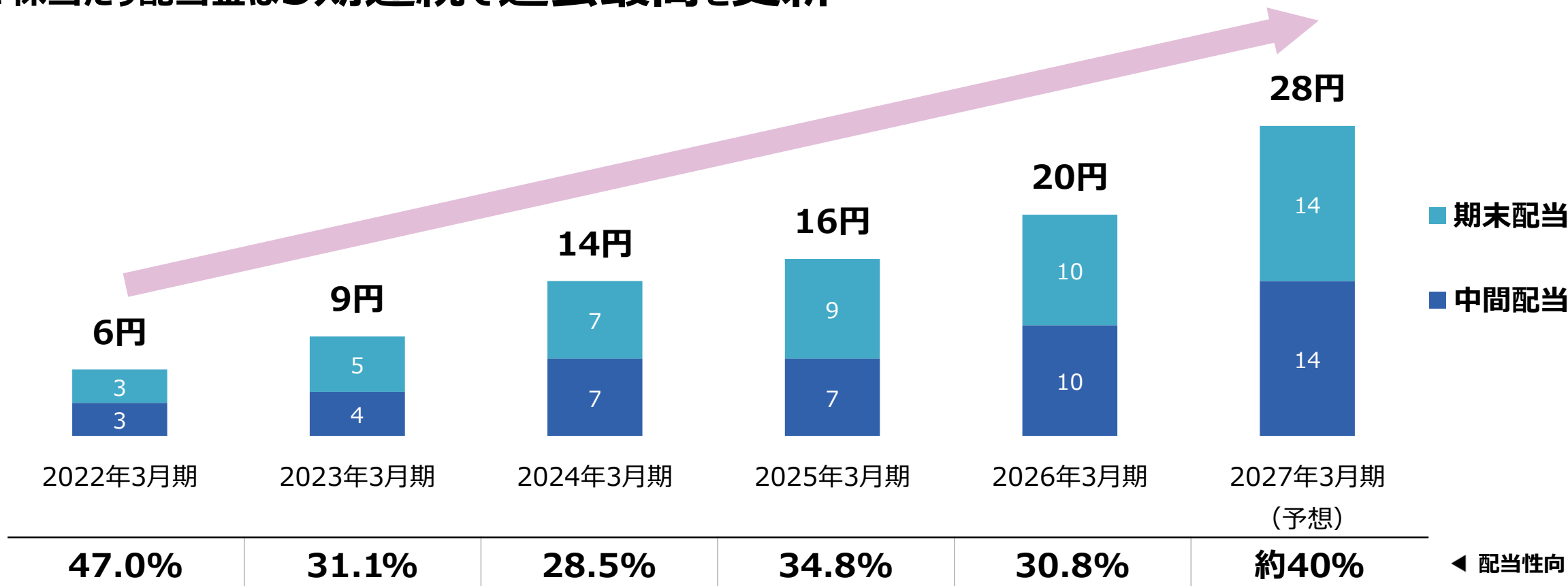
売上高は2026年3月期と同水準を想定

継続的な販売単価の改善およびシステム部門の収益性の改善により、コスト上昇を織り込みつつも、増益の見通し

単位：百万円

	2026年3月期 実績	2027年3月期 業績予想	前期比	増減率	売上収益見通し
売上高	15,589	16,000	410	2.6%	2026年3月期と同水準を見込む
営業利益	1,703	1,800	96	5.7%	利益見通し 販売単価の改善および継続的なシステム部門の収益性の改善などにより、いずれの利益も2026年3月期を上回る見通し
経常利益	1,771	1,900	128	7.2%	
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,400	1,420	19	1.4%	
	2026年3月期 予定	2027年3月期 予想	前期比	増減率	配当
配当	20円	28円	+8円	-	株主の皆様への利益還元強化のため、前期比+8円の28円を予想

2027年3月期は、前期から**8円増配**の**年間28円**を予定
 1株当たり配当金は**5期連続**で**過去最高**を更新



配当 基本方針

最も重視すべき株主の皆様への利益還元であると認識し、会社の経営基盤の確保と将来の事業展開に備えた財務体質の充実を総合的に勘案し決定する。
 本中期経営計画期間中においては、利益変動にかかわらず、安定的な配当を実施するべく、株主還元指標としてDOEも導入する。

2. 中期経営計画「Imagination2028」概要・進捗

PHASE2 成長期



オーバル 中長期経営ビジョンとPHASE2 の位置づけ



VISION アジアNo.1のセンシング・ソリューション・カンパニーへ

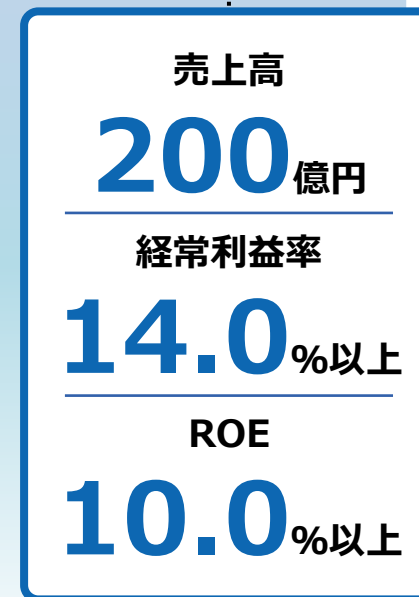
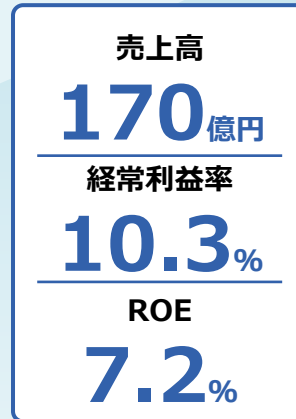
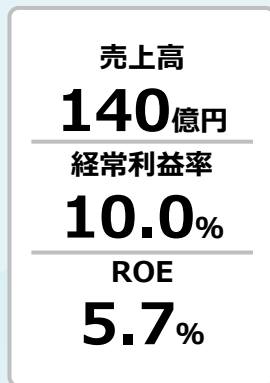
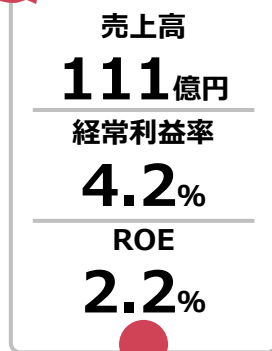
PHASE 1 構造改革期

PHASE 2 成長期

Imagination
2025

Imagination
2028

連結



2022年3月期（実績）

2023年3月期—2025年3月期

2026年3月期—2028年3月期

2032年3月期（計画）

中期経営計画

成長戦略

センサ事業成長戦略

サービス事業成長戦略

システム事業成長戦略

新事業創出戦略

事業環境の変化を的確に捉え、「既存事業の変革」と社会の課題を解決するための「イノベーション」を実現し、企業価値を高める戦略

経営基盤強化戦略

生産性向上戦略

人事財務強化戦略

DX推進戦略

サステナビリティ推進戦略

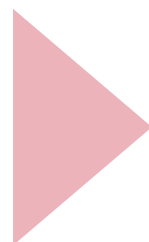
現在の経営基盤の見直しや改善と、時代の変化に即した新しい組織・運用の導入により、強靱で社会から信頼される経営基盤を構築する戦略

PHASE2 成長期ミッション **確かな**はかる技術と**新しい**価値でサステナブルな取り組みを加速

全社戦略

2028年3月期目標値

成長戦略	既存事業の「ブラッシュアップ」
	新規事業の「探求/サーチ」
経営基盤強化戦略	経営基盤の「ブラッシュアップ」
	カーボンニュートラル製品の「成長/グロース」
	支える舞台を「創る/クリエイト」
資本政策	株主還元の「充実/エンハンス」



■ 新製品・リニューアル製品売上高：2025年3月期比30%増
■ アジア市場売上高：2025年3月期比15%増
■ 新規事業売上高：17億円
■ 一人当たり営業利益：2025年3月期比10%増
■ 水素・アンモニア関連製品売上高：2025年3月期比50%増
■ 従業員エンゲージメント調査満足度：2025年3月期比5%増
■ 従業員離職率：2025年3月期離職率維持
■ 女性管理職：2025年3月期比20%増
■ ROE：2028年3月期7.2% ※：計画期間3カ年の平均
■ 株主還元：中期経営計画PHASE2期間 総還元性向70%以上※、DOE2.7%以上

中期経営計画Imagination2028 経営目標

中長期経営ビジョンの実現に向けた
挑戦と成長の加速

	Imagination2025	Imagination2028		2032年3月期 (計画)	単位：億円
	2025年3月期 (実績)	2028年3月期 (計画)	2026年3月期 (実績)		
売上高	150	170	155	200	
経常利益	14.4	17.5	17.7	29.5	
親会社株主に帰属する 当期純利益	10.2	11.6	14.0	20.0	
ROE	6.7%	7.2%	8.9%	10.0%	
配当	16円	28円	20円	40円	

時代の流れに対応した主力製品のモデルチェンジと新たな市場へ新製品投入

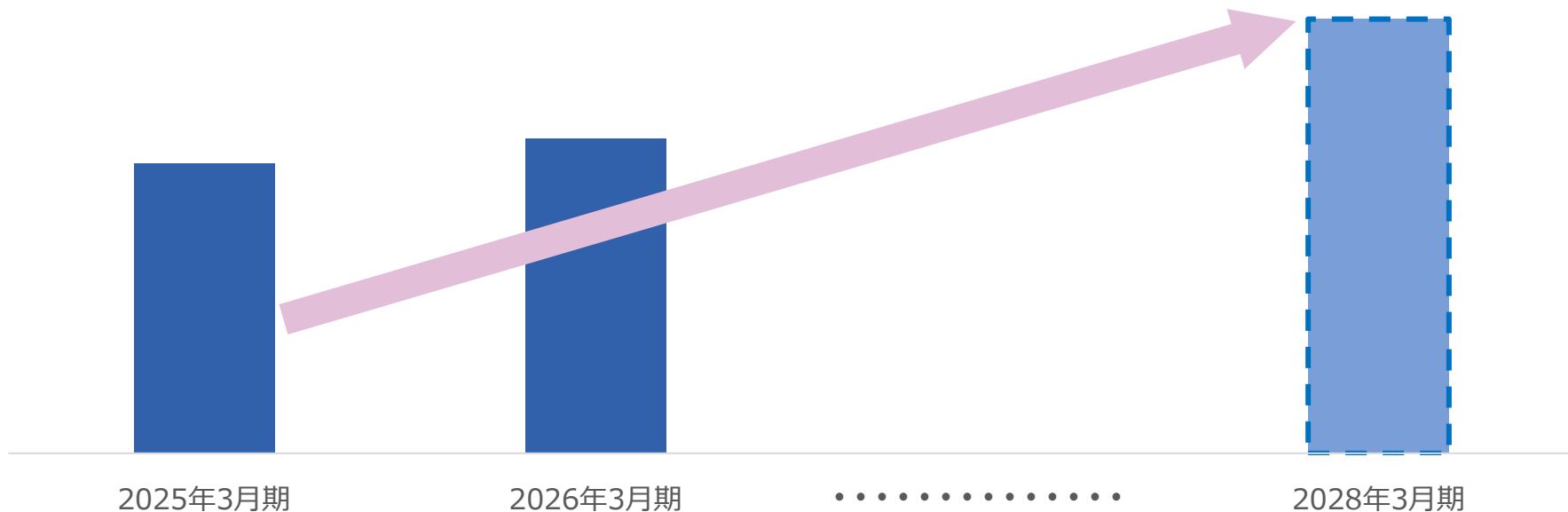
新製品・リニューアル製品の売上高
対2025年3月期比**30%**増（2028年3月期）



主力製品であるコリオリ流量計 ALTImass II をベースに視認性・操作性・メンテナンス性を向上させた
新製品「ALTImass II PLUS」を2026年秋に発売開始

脱炭素社会の構築と代替エネルギーサプライチェーンに関連する商品・サービスの開発・提供に積極的投資・推進

水素、アンモニア計測向け製品の売上高
対2025年3月期比**50%**増（2028年3月期）



2026年3月期実績
2025年3月期比**9%**増

水素・アンモニア計測用流量計の一例



高精度で信頼性の高い水素計測流量計を供給するために、国内でも希少な水素実ガス校正設備を開設

OVAL H₂ Lab



2026年2月24日に竣工式

- 水素計測流量計の品質向上
- メーカー問わず、水素計測流量計の校正対応



水素計測流量計校正事業拡大



※水素実ガス校正設備：水素ガスを実際に流して、流量計が正しく測定できているかを検証・調整するための専用設備

脱炭素社会への移行期間におけるエネルギー安定供給体制を確保するため石油類取引用システム提供

アジア市場売上高

対2025年3月期比**15%**増（2028年3月期）

※システム部門以外の売上含む

シンガポールを中心に、東南アジア、中国、韓国、台湾のグループ会社連携強化による販路拡大

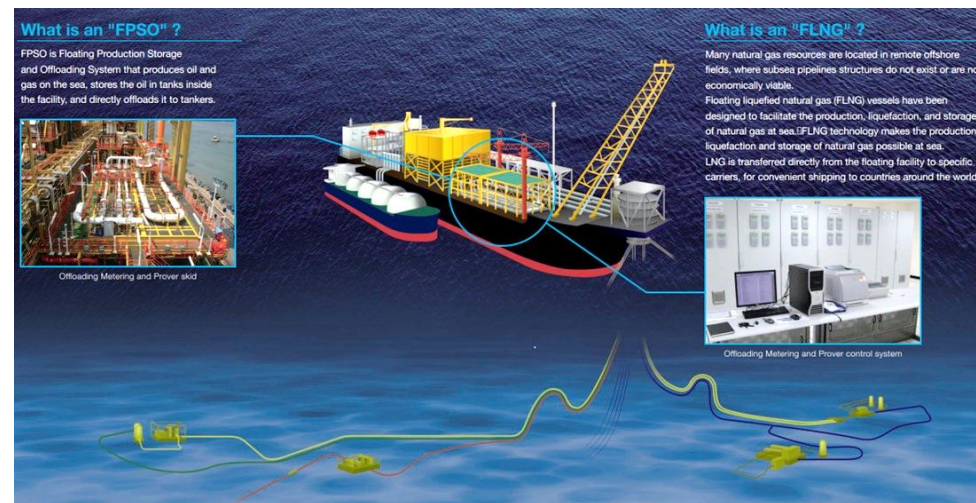
FPSOやFSOと呼ばれる、洋上で石油・ガスを生産・貯蔵積出するための浮体式設備に用いる、高性能流量計測装置とその流量校正装置は、OVAL ASIA PACIFIC PTE. LTD.（シンガポール子会社）が得意としており、これまで多数納入してきた経験と実績を活かす

OVAL ASIA PACIFIC PTE. LTD.が ベトナムPTSC Asia Pacific より大口システム案件受注

2025年4月ニュースリリース

LAC DA VANG FIELD（油田）FSOに設置する石油類の取引用
に使用される流量計測装置（メータリング・システム）※ および流量校正
装置（プルービング・システム）を受注

※石油やその他の流体の売買時に、正確な取引量を把握するために使われる装置。
これにより、取引における数量の誤差を防ぎ、正確なデータに基づく取引が可能になります。



新事業創出戦略：自社保有技術を活用した新たな取り組み



社内ベンチャー制度を活用した新事業創設や流量計測以外の製品開発を通じて新たな市場を開拓

新規事業売上高

2028年3月期 **17億円** (純増)

ケムシエルパ調査代行事業 (含有化学物質調査)

計測機メーカーによる
製品含有化学物質調査サポートサービス

chemクライマー

chemクライマーとは、chemD4EPA7を用いた、
製品含有化学物質調査サービスを提供。これにより、法規制
に対応しているお客様をサポート。chemD4EPA7は、調査管理サービスです。

RoHS, REACH等の調査にお困り事はありませんか？

責任者はあらず
家に届け持ち帰る

自社サプライヤの
対応状況が分からない

規格と実測との間に
大きなギャップがある

自社での調査経験を持つ私たちが
CI管理固有のあなたのお悩みを解決します

保安管理の体制づくりはお任せください
chemクライマーのサービスモデル

従来の保安管理

本サービス導入後の保安管理

045-785-7208

株式会社オーバル

食品・飲料輸送用ローリー車を主対象とした マンホールカバー封印管理システム・キット

スマート封印システム
Lock'n Lorry

封印管理は「結束バンド」から「スマホ」の時代へ！
Lock'n Lorryは、食品系ローリー車における「プラスチック製結束バンド」による封印管理の課題を解決する次世代封印システム・キットです。

従来の封印管理における課題

① 脱ブラ 結束バンドの大量廃棄！

② 高所作業 結露作業のために作業にクランクアップしなければならぬ

③ 員数管理 結束バンドの使用数を紙で記録したり、ハンズレスで入力して記録している

煩雑・膨大な事務作業！

Let's Lock'n Lorry!

結束バンド不要に！
ロックユニットにロックキーを押し込みだけ
マンホールカバーを解除(封印)できます！

スマホでかんたん封印管理！
地上から封印状態を確認可能！
ロック解除や封印解除の確認もスマホでOK！

✓ 結束バンドが不要に！ → ① 脱ブラ実現 → ③ 員数管理不要

✓ 地上にて封印状態の確認が可能に！ → ② 高所作業量が減少 → 安全性向上

✓ 封印管理は自動記録＆ペーパーレスに！ → ④ 作業効率や信頼性が向上

SDGs
2024年問題
の解決に貢献
します

給水状況をリアルタイムに可視化する プール給水監視システム・キット

学校プールの給水状況を「見える化」
プール給水監視システム

既に複数の公立学校に
導入いただいています！

「バルブ閉め忘れによる水の流失」リスク・管理負担を大幅軽減！

簡単導入 大掛かりな工事は不要。最短1日で導入可能

維持費不要 「サブスク」サービスではありません

即時通知 異常時にはEメールを自動送信

選べる3つのソリューション

1 校内LAN使用

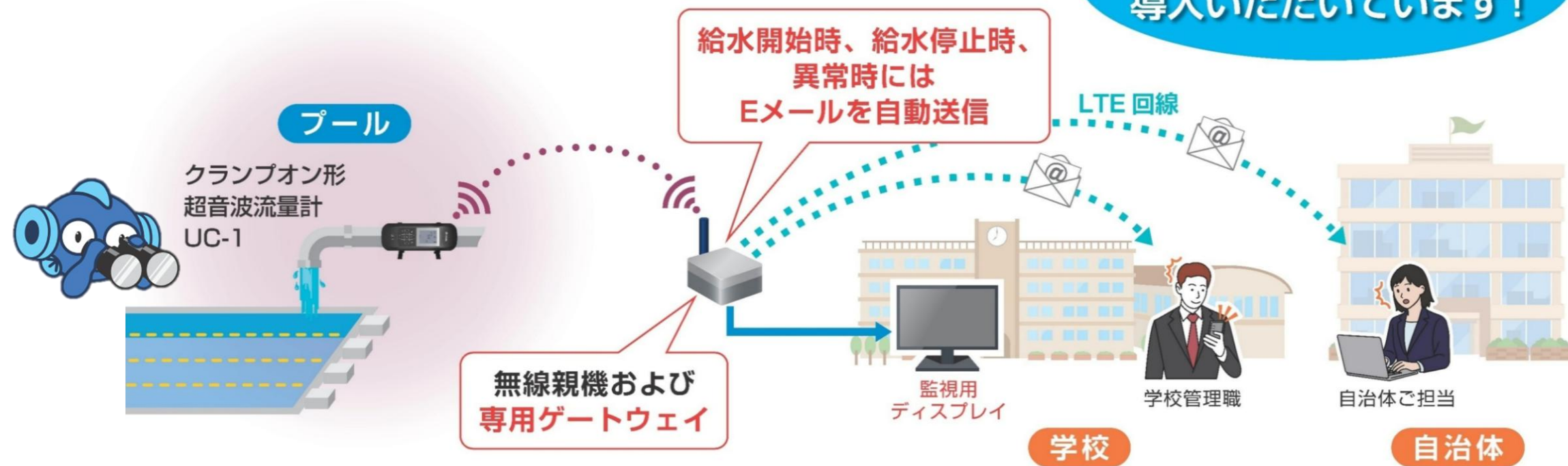
2 LTE回線使用

3 メール通知のみ

新事業創出戦略：プール給水監視システム

学校プールの給水状況を「見える化」

既に複数の公立学校に
導入いただいています！



機能

給水開始／給水中／給水停止の**状態監視**
流量・累積水量・給水時間・設定時間**超過の検知**
監視画面での**リアルタイム表示、メール通知**
(給水の開始時や停止時など)

特長

配管の外側に巻き付けるだけ、かつ電池式
→**既設配管の切断・改造や電源工事が原則不要**
給水配管の運用を止めにくい学校環境でも
短時間で導入しやすい！

アジアNo.1のセンシング・ソリューション・カンパニーを目指し、設備投資を実施



中国連結子会社 新工場開設
-中国での現地製造・現地販売体制の増強-

- 中国市場において、リチウムイオン電池、船舶、化学、エネルギー等の分野で流量計需要が拡大
- 増大する現地需要に対し、顧客ニーズを的確に捉えた製品を迅速に供給するべく、現地生産キャパシティを強化することで、グループ生産性を向上



新工場外観



新工場竣工式

2032年3月期におけるROE10%とPBR1倍以上の実現に向けて、Imagination2028の各戦略を実行

利益率の向上

- 2028年3月期
- 売上高170億円の達成
 - 経常利益17.5億円の達成

総資産回転率の向上

- 工場稼働率、設備稼働率の向上
- 資本効率性の高い事業に経営資源を集中

財務マネジメント

- キャッシュフローの改善と並行したレバレッジの活用によるM&AやR&Dへの投資
- 株主還元の充実
総還元性向70%※以上
DOE2.7%以上

※計画期間3カ年の平均

Imagination2028

成長期待の醸成

当社魅力の情報発信の強化

- コーポレートサイトの充実化
- 統合報告書の開示

自己株取得

- 機動的な自己株取得によるEPSの向上

2028年3月期のROE7%必達に向けて

中期経営計画 PHASE2期間

総還元性向 70%以上※、DOE2.7%以上
機動的な自己株式取得の実施を予定

※計画期間3力年の平均

	2023年 3月期	2024年 3月期	2025年 3月期	2026年 3月期	2026年3月期～ 2028年3月期
	実績				目標
年間配当	9円	14円	16円	20円	期間中 総還元性向70%以上 DOE2.7%以上
配当性向	31.1%	28.5%	34.8%	30.8%	
総還元性向	31.1%	28.5%	34.8%	122.9%	
DOE	1.3%	2.0%	2.2%	2.6%	

配当 基本方針

最も重視すべき株主の皆様への利益還元であると認識し、会社の経営基盤の確保と将来の事業展開に備えた財務体質の充実を総合的に勘案し決定する。
 本中期経営計画期間中においては、利益変動にかかわらず、安定的な配当を実施するべく、株主還元指標としてDOEも導入する。

■ 自己株式取得

2026年3月期には、**総額13億円の自己株式取得を実施**

取得期間 (1回目)	2025年8月18日～2026年8月17日 (2025年11月18日取得終了)
上限額	800,000,000円
上限株数	2,200,000株
取得した株式の総数	1,296,800株
取得価額の総額	799,951,300円

取得期間 (2回目)	2025年11月28日～2026年5月27日 (2026年2月2日取得終了)
上限額	500,000,000円
上限株数	1,000,000株
取得した株式の総数	746,600株
取得価額の総額	499,938,100円

■ 自己株式消却

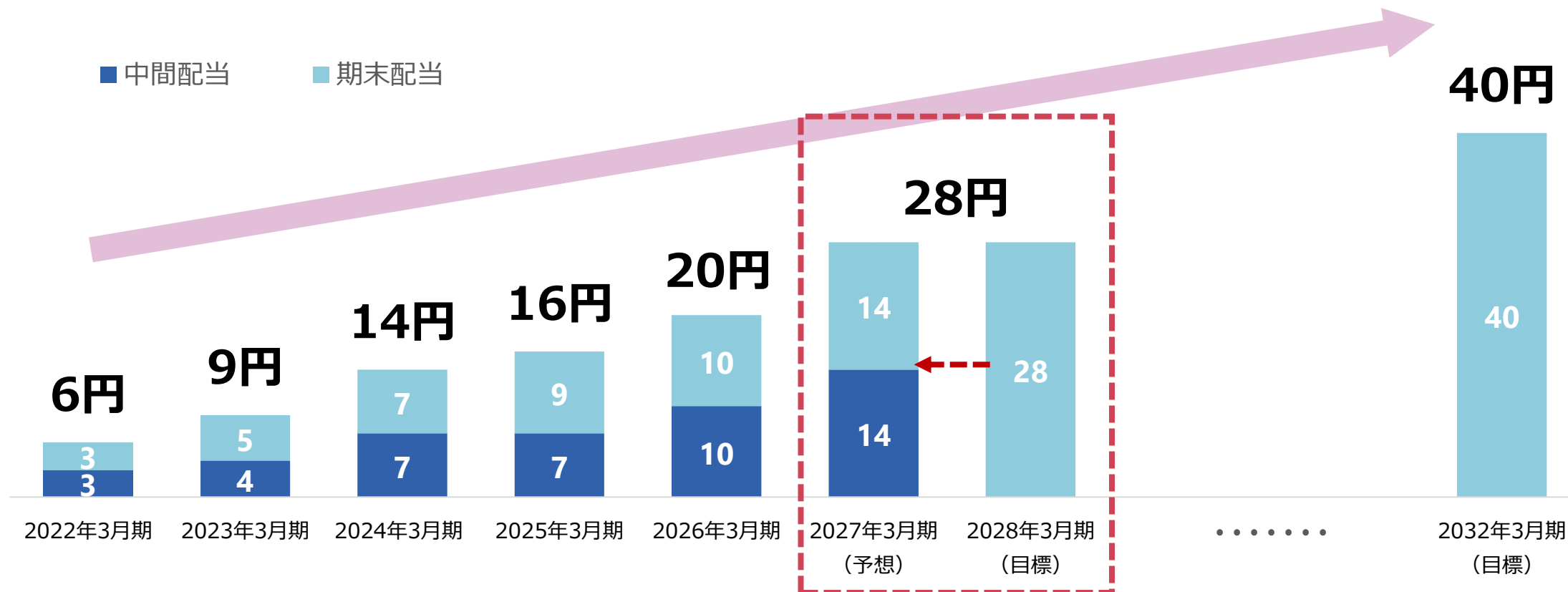
2026年3月31日付で**自己株式518万株の消却を実施**

発行済株式総数	26,180,000株
自己株式数	5,819,521株



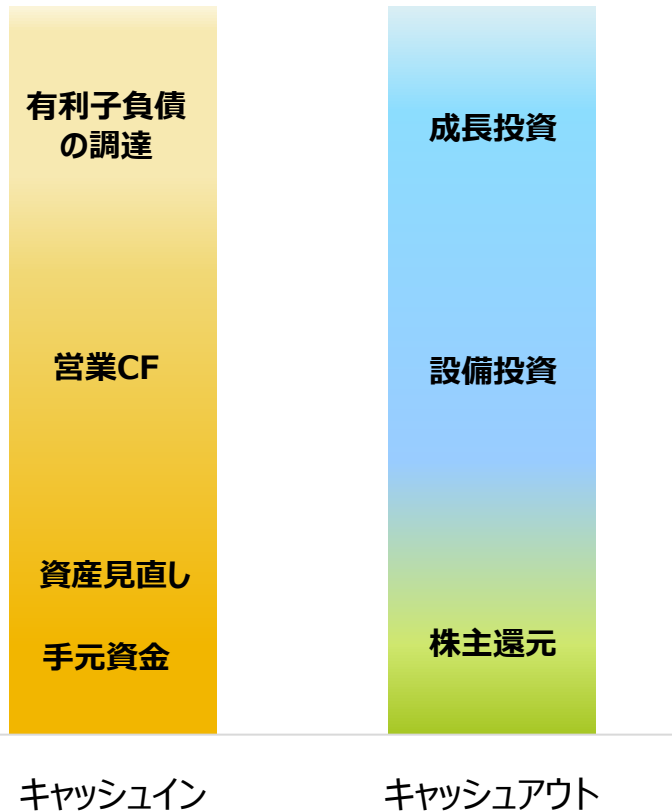
発行済株式総数	21,000,000株
自己株式数	639,521株

「Imagination2028」の進捗を反映し、利益還元強化を決定 2028年3月期配当目標を2027年3月期に1年前倒し達成へ



配当性向	47.0%	31.1%	28.5%	34.8%	30.8%	約40%
------	-------	-------	-------	-------	-------	------

「成長投資」「株主還元」「財務体質の健全化」の バランスを確保の上、経営資源を配分



キャッシュイン方針
<ul style="list-style-type: none"> ・利益率の改善（経常利益率2025年3月期比0.3ポイント増）、運転資本改善などによる営業キャッシュフロー増加に向けた取り組みの実施 ・財務健全性を確保しつつ借入を実施 ・保有資産の見直しと有効活用

キャッシュアウト方針
<ul style="list-style-type: none"> ・ESG投資①：水素事業への投資 ・ESG投資②：人的資本投資 ・M&A投資 ・株主還元

投資計画		
<p>成長投資</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水素・システム事業への投資 ・人的投資 ・R&D投資 	<p>設備投資</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工場増設 ・IT投資（スマート工場化） 	<p>株主還元</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総還元性向(計画期間平均70%以上)、DOE(2.7%以上)の引き上げ ・自己株式の取得

BS戦略

資産の最適化

- 固定資産の管理: 収益性 (CIF)の低い資産の見直し、政策保有株式の見直し
- 流動資産の管理: 余剰現金の適切な運用、売上債権回転率と棚卸資産回転率の改善

負債管理

- 借入金の最適化: 長短期の借入金をバランスよく組み合わせ、金利負担を抑えつつ資金を確保

資本構成の最適化

- レバレッジの調整: 自己資本と他人資本 (負債) の比率を最適化
- 株主還元の見直し: 総還元性向 (計画期間平均70%以上) DOE (2.7%以上) の引き上げ、自己株式取得

IR戦略

株主・投資家の皆様との対話促進

- 決算説明会、個人投資家説明会等を通じた株主・投資家の皆様との対話促進

非財務情報の積極的な開示

- Webサイト、統合報告書等による非財務情報の積極的な開示

3. 參考資料



会社名 株式会社オーバル

創立 1949年5月10日

資本金 22億円（スタンダード市場上場）

連結子会社 11社（国内4社、海外7社）

従業員数 678名

2026年3月31日現在



本社
東京都新宿区



創業者
加島 淳

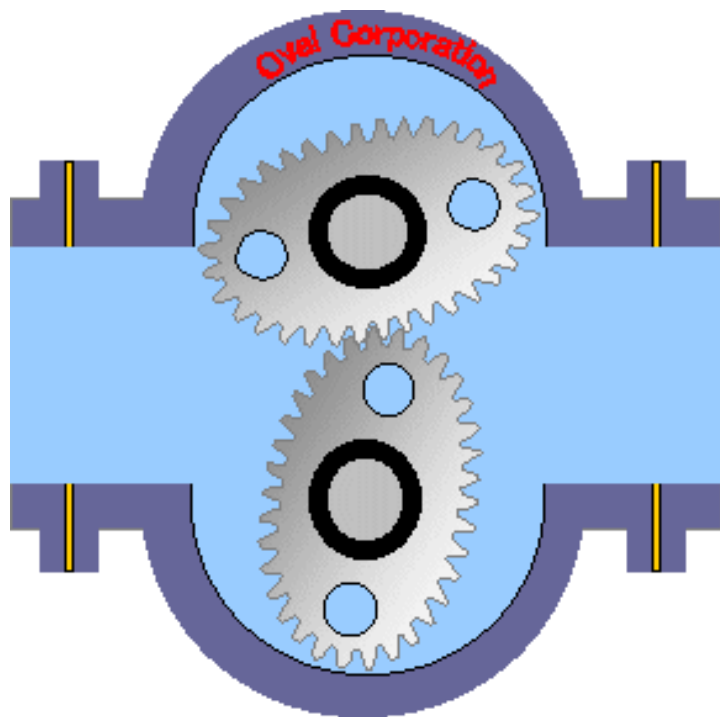
沿革 history

- 1949 オーバル機器工業(株) 創業
- 1961 東京証券取引所市場第二部に上場
- 1992 社名を(株)オーバルに変更
- 2014 東京証券取引所市場第一部に指定替え
- 2019 創立70周年を迎える
- 2022 新中期経営計画「Imagination2025」公表
- 2023 東京証券取引所スタンダード市場を選択



横浜事業所

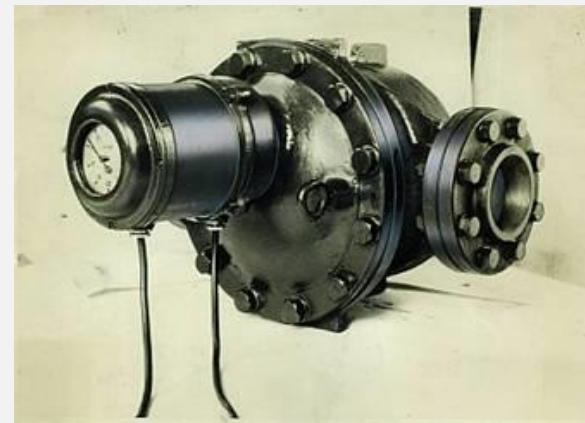
内部 構造



現在のオーバル流量計（ULTRA OVAL TypeS）



初期のオーバル流量計



経営理念

**確かな計測技術で、新たな価値を創造し
豊かな社会の実現に貢献します**

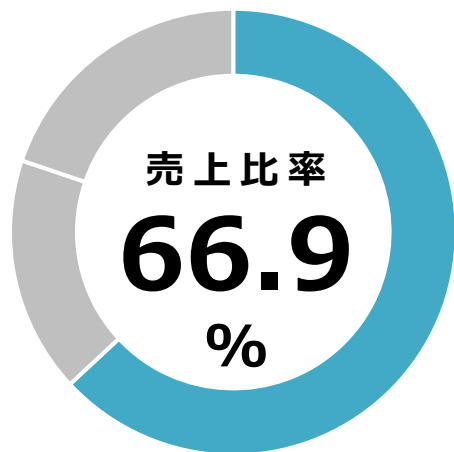
中長期経営ビジョン

**アジアNo.1の
センシング・ソリューション・カンパニーへ**

※アジアNo.1=アジアに本社（資本）が所在する企業のNo.1

2026年3月期

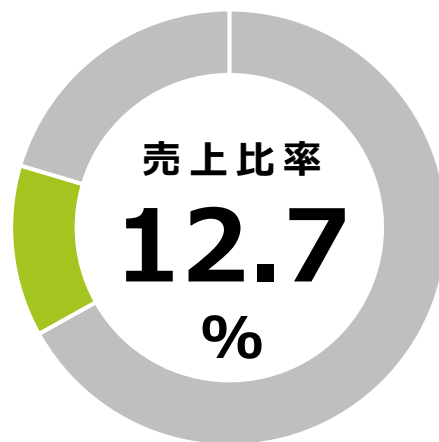
センサ部門



流量計をはじめとする計量計測機器および関連機器の製造販売



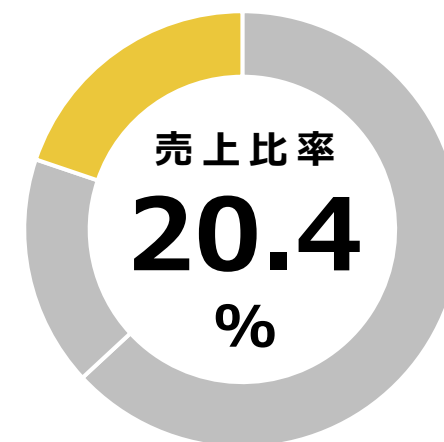
システム部門



流体計測制御に関連する製造、出荷、検査、分析等のシステム装置の設計、開発、販売・施工



サービス部門



製品のフィールド対応、修理、メンテナンスおよび校正事業(JCSS含む)



流れに価値を加えます

容積
流量計



熱式質量
流量計



コリオリ
流量計



タービン
流量計



渦
流量計



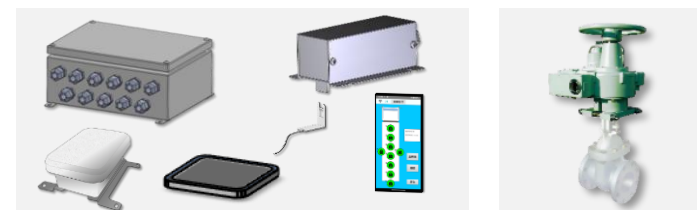
電子
計器



超音波
流量計



その他



流体計測制御システム

受入出荷システム



検定システム



サービス・校正

現地での修理・メンテナンス



移動検定車



「校正品質」という付加価値でお客様の課題を解決

JCSS登録事業者で**唯一3種類の流量**で登録

「石油(灯油・ガソリン・重油)」「水」「気体」3種類の流量でJCSS登録

石油の校正可能流量は**国内最大**

※2021年7月 流量計校正設備「パイプルーバ」更新

自社のみならず他社製品の校正サービスも提供



当社は、認定基準としてISO/IEC 17025を用い、認定スキームをISO/IEC 17011に従って運営されているJCSSの下で認定されています。
JCSSを運営している認定機関(IAJapan)は、アジア太平洋認定協力機構(APAC)及び国際試験所認定協力機構(ILAC)の相互承認に署名しています。
当社認定事業室は、国際MRA対応JCSS認定事業者です。
JCSS0180は当社認定事業室の認定番号です。



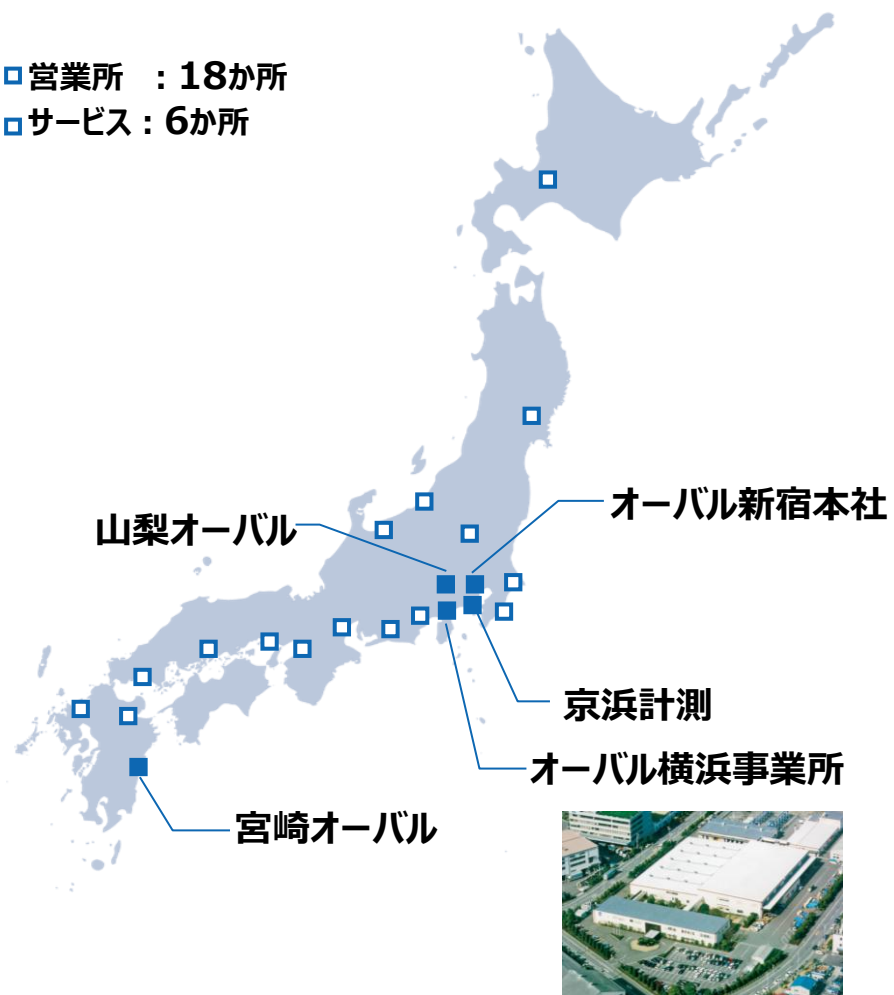
水校正設備【JCSS校正】
基準タンク



石油校正設備【JCSS校正】
パイプルーバ

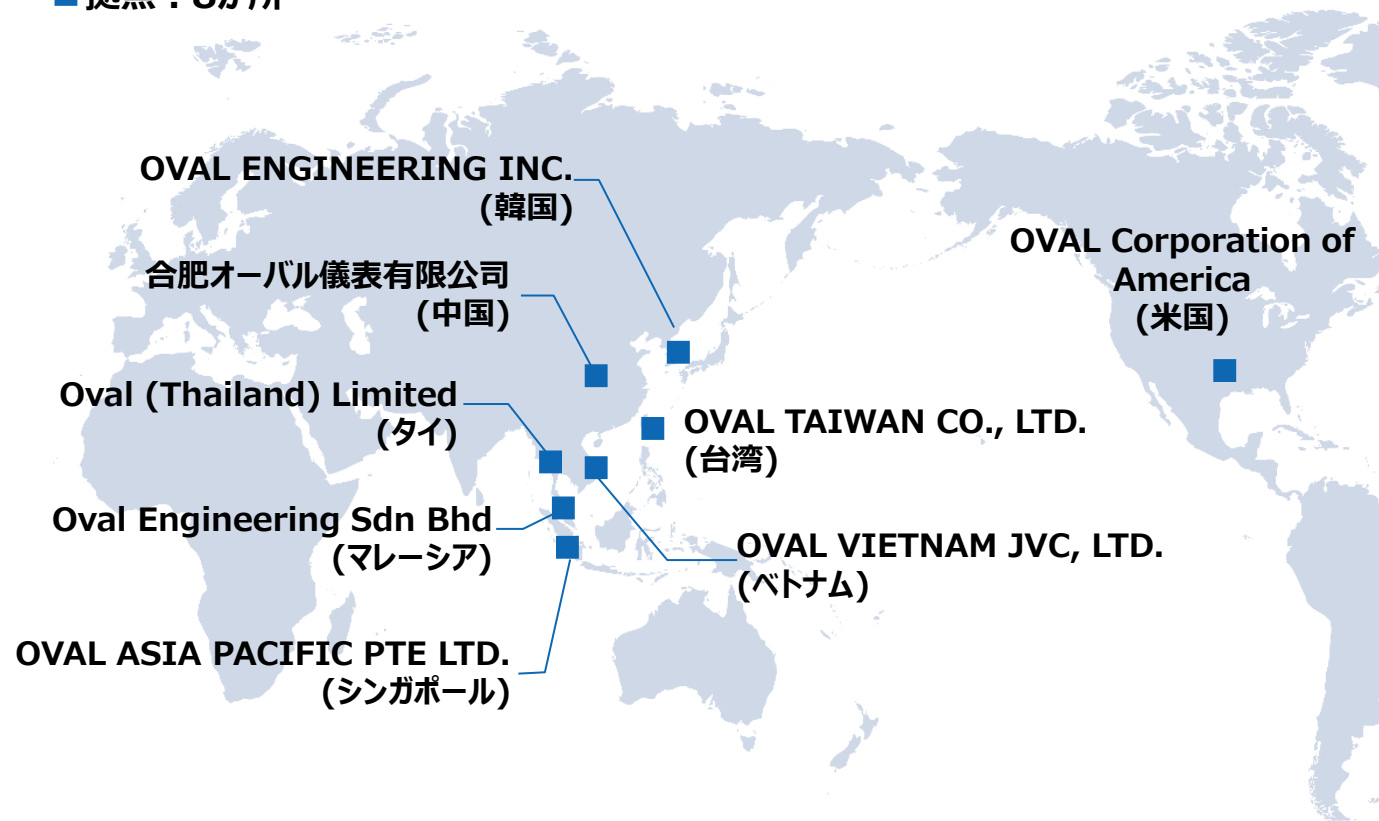
国内

- 営業所 : 18か所
- サービス : 6か所

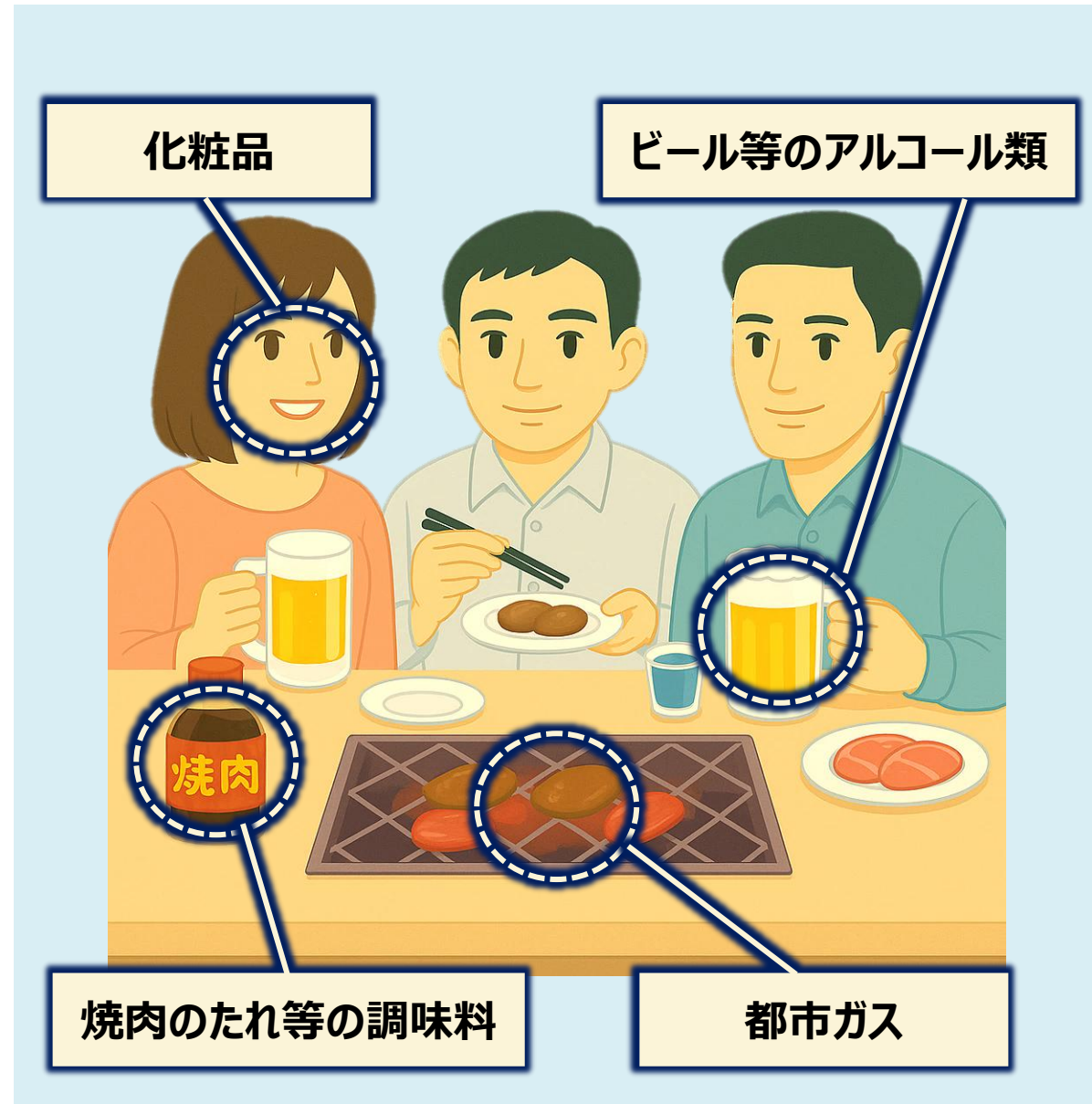
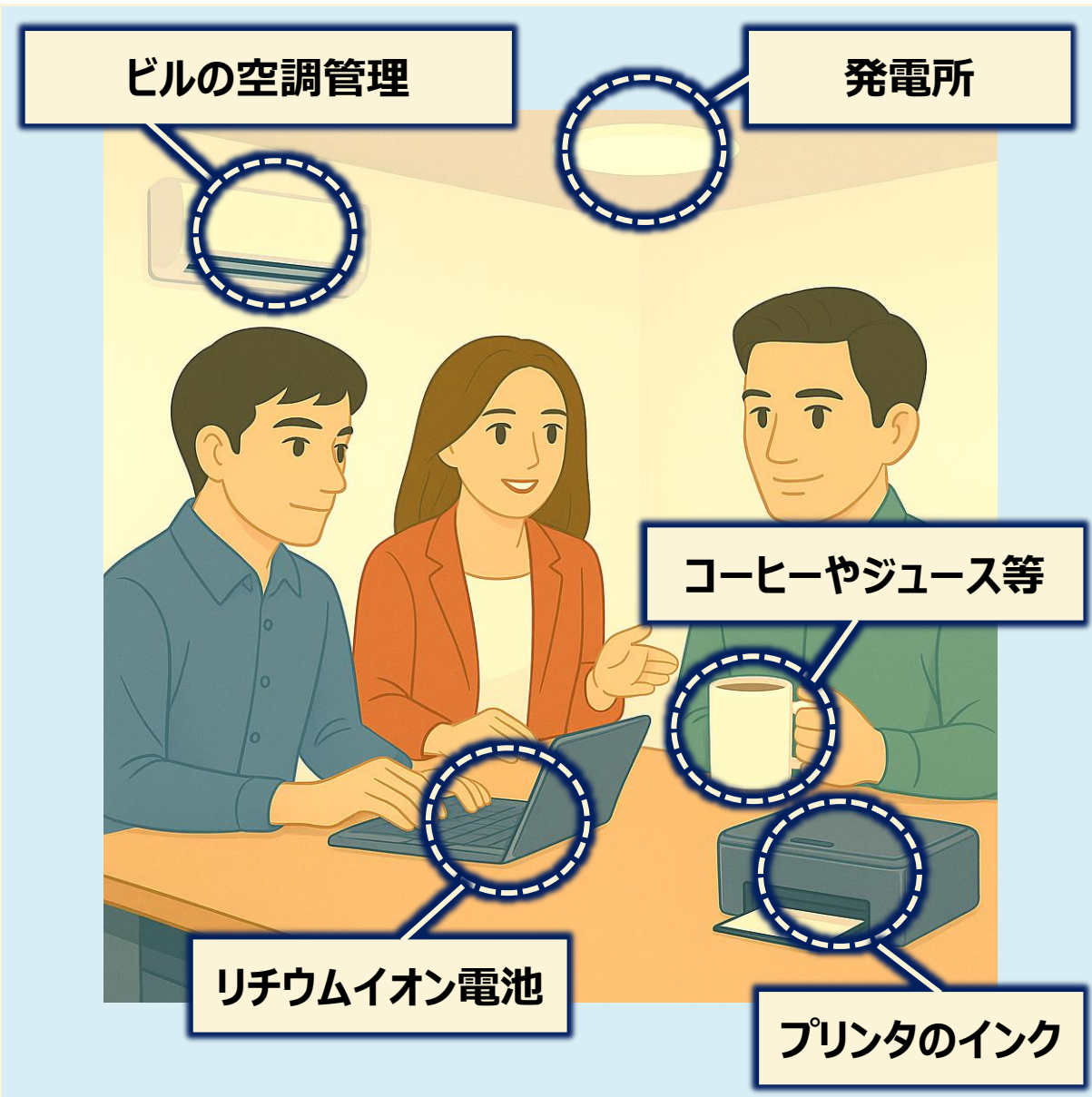


海外

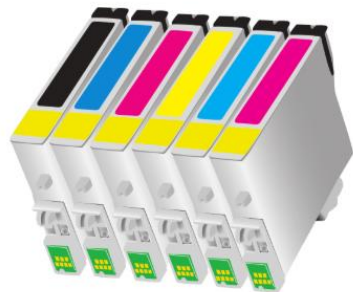
- 拠点 : 8か所



こんなところにも「オーバル」

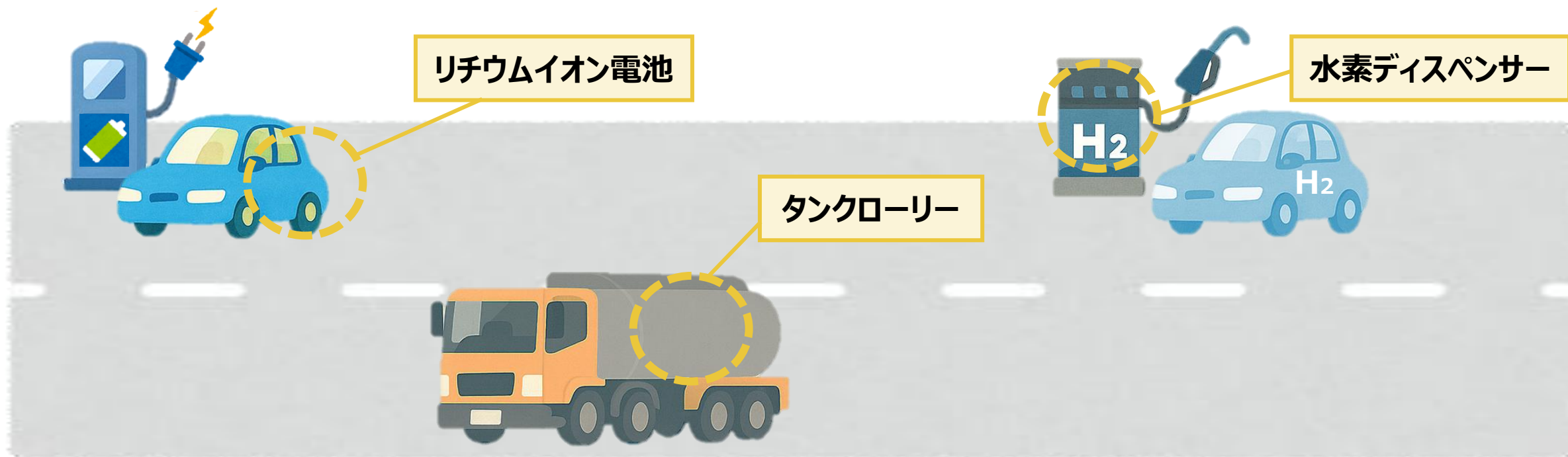


プリンターのインク

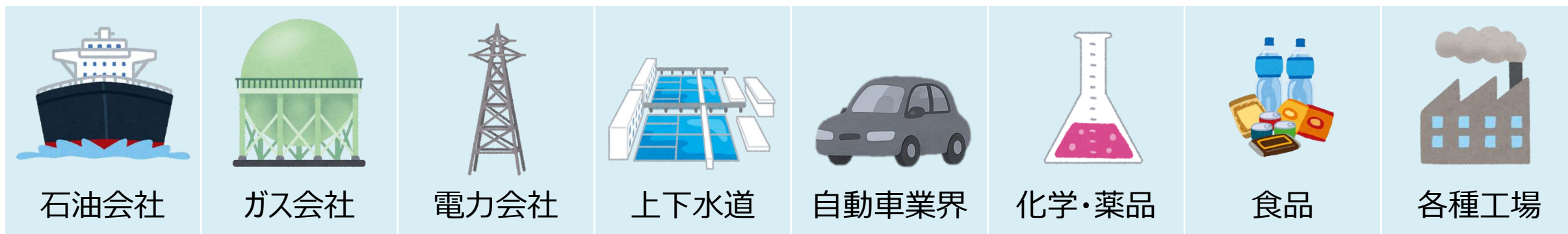


ジュース・ビールなどの飲料



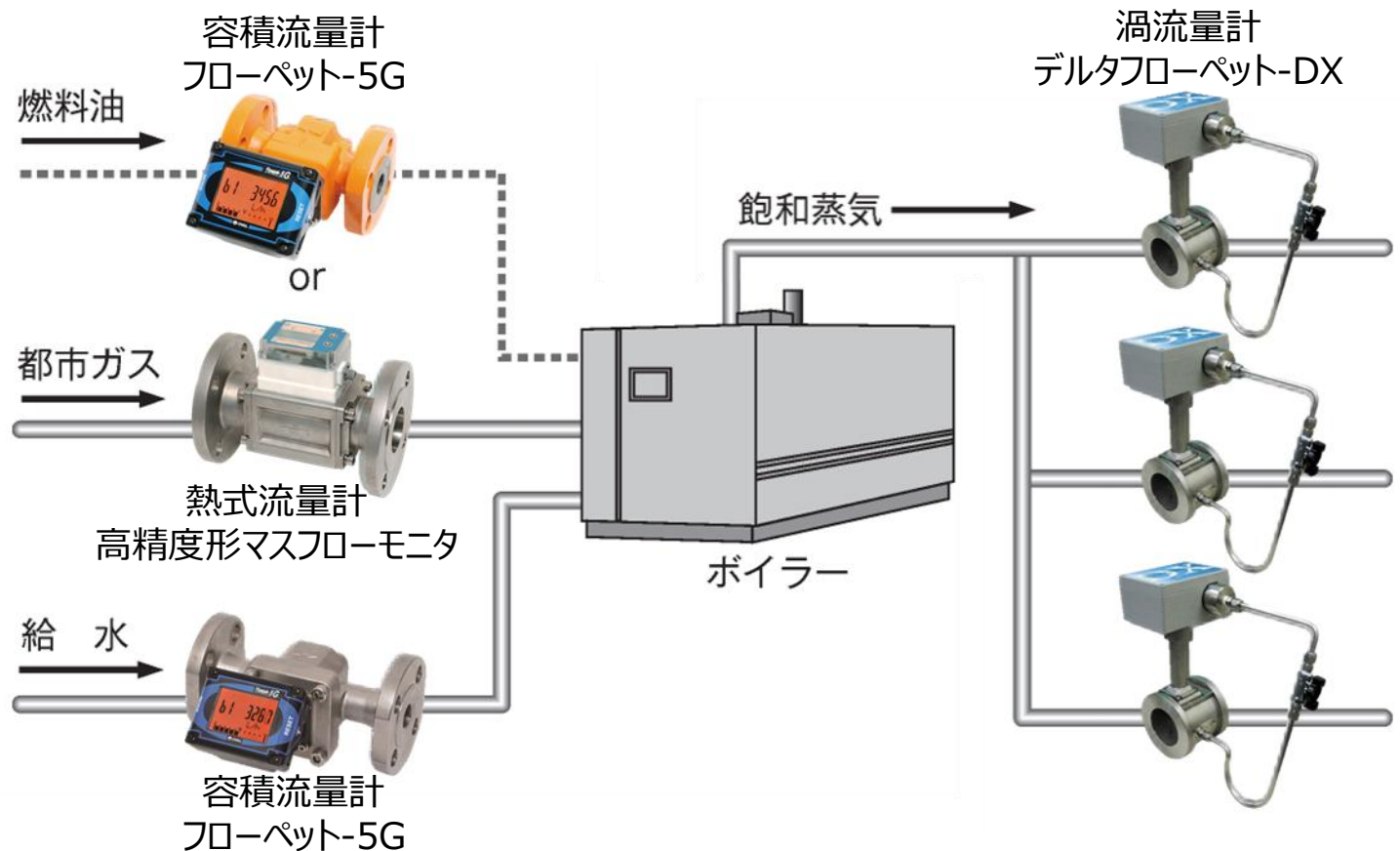


このほかにも、幅広い業種でオーバルの流量計は使用されています。



流量計はどのように使用するのか？

流量計の使用場面① 燃料油・都市ガス・給水、飽和蒸気の計測に使用される流量計



(1) 流量計で適切な量の燃料が供給されているか把握



(2) 発生した飽和蒸気などの熱エネルギー量を流量計で把握

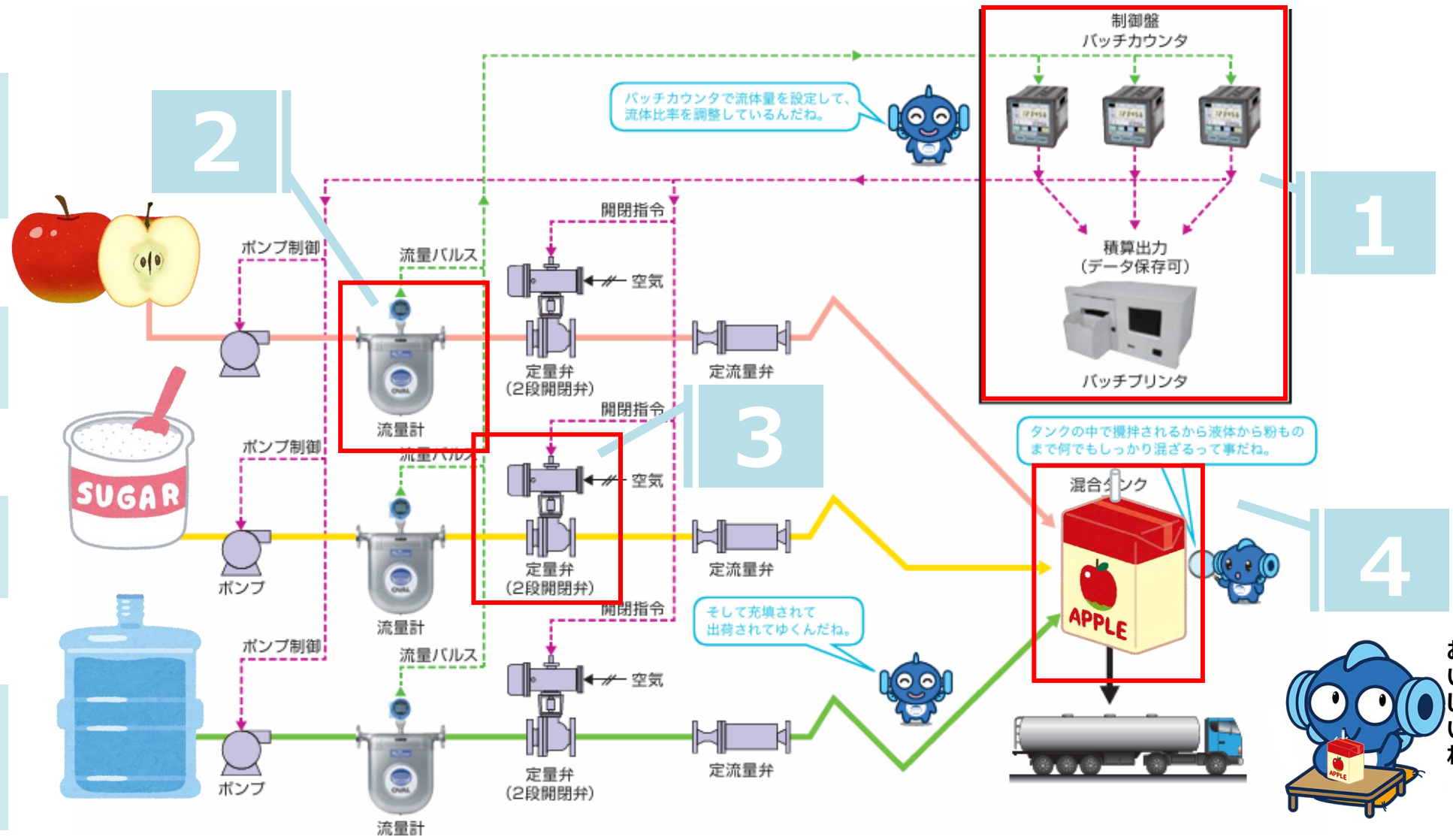


(3) 蒸気を使って、ビルや病院などの大規模施設の空調や給湯設備を稼働

流量計はどのように使用するのか？

流量計の使用場面② ジュースなどの飲み物の製造に使用される流量計

- (1) バッチカウンタで水や果汁の流す量を設定。計量開始！
- ↓
- (2) 流量計で実際に流れる量をはかる
- ↓
- (3) 一定量流れたら定量弁で止める
- ↓
- (4) 攪拌（混ぜる）するといつも飲んでいるおいしいジュースに！



流量計はどのように使用するのか？

流量計の使用場面③ 税金（例えばアルコール飲料に課されている酒税）を正しく納めるために使用される流量計

(1) 酒税は、容量にお酒の種類と、アルコールの度数に応じた税率を掛けて算出



(2) ということは、お酒を入れるタンクの容量が正確であることが大切！



(3) オーバルの高精度流量計でタンクの容量の正確性を保証する



(4) 酒税の公平な徴収、製造者の信頼性が確保された！



オーバルの無線シリーズ

Link 920



パルス入力仕様
子機ユニット

フローペット-5G
Link920仕様

EggsDELTA II
Link920仕様

令和2年度優秀省エネ機器・システム表彰
日本機械工業連合会会長賞受賞

EL9000

ローリー車向け無線 流量プリンタシステム




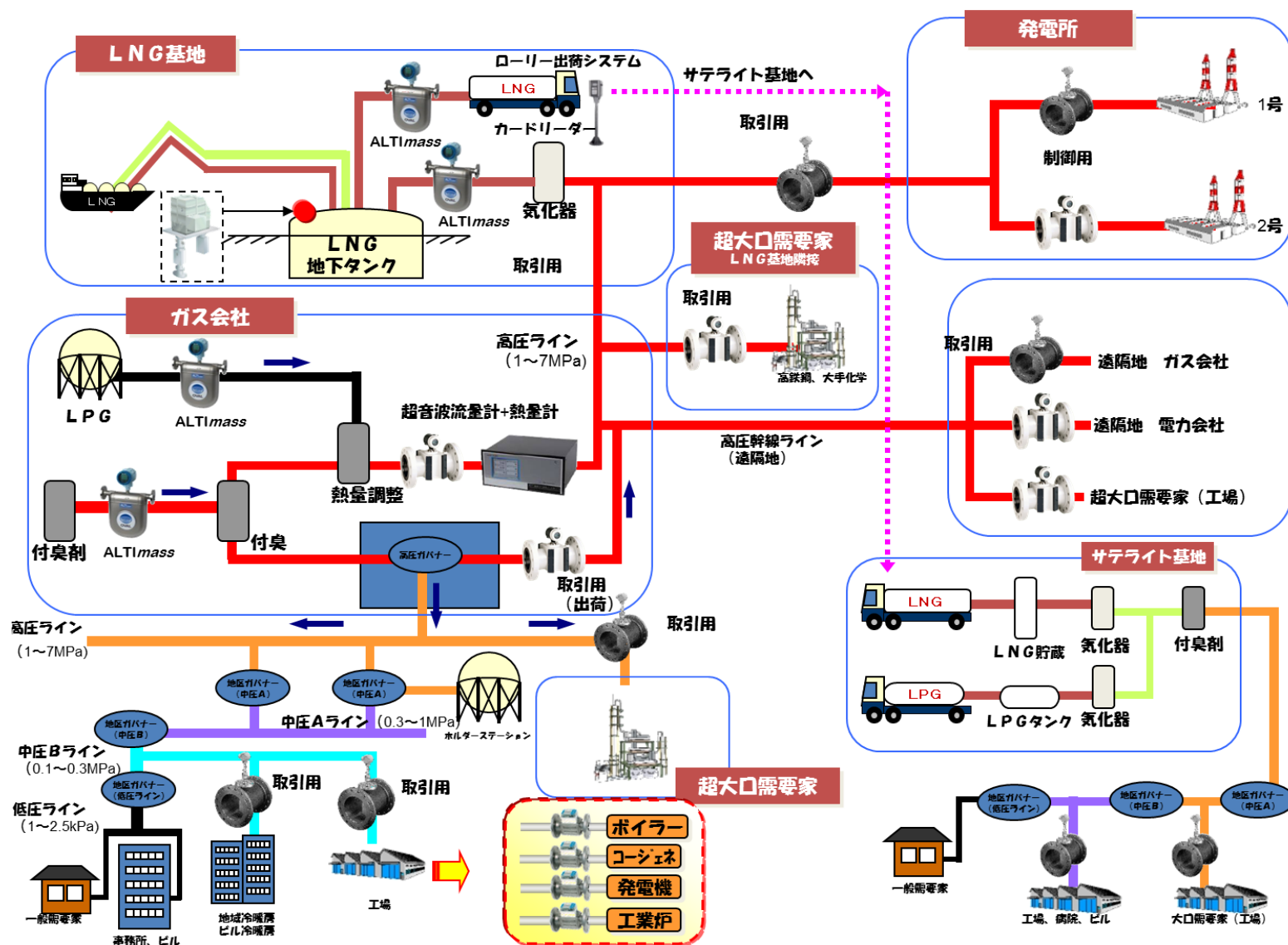
労働人口減少等により「現場の可視化」ニーズに貢献

- 人手が必要だった工場やビル内の見回り作業を無線で一括管理
→ **省人化**
- 「現場の可視化」のニーズに応える
→ **オーバル独自の防爆エリアでも使用可能な製品の開発**



工場の保守・メンテナンス運用を**合理化・自動化 (DX化)** するための
基盤構築で、**人手不足解消に貢献**

	<p>ものづくりに直接的に関わる 製造・制御用途 情報の精度・信頼性・応答性が重要</p>	<p>ものづくりに間接的に関わる 保全・省エネ・安全管理用途 情報の量・多様性・コストが重要</p>
<p>非防爆エリア 計測器メーカ以外も 参入しやすい</p>	<p>高性能・高信頼 無線の活用範囲は限定的。</p>	<p>様々なメーカーが参入 価格や選択肢が充実化</p>
<p>防爆エリア 新勢力は 参入しにくい</p>	<p>このゾーンの製品に 競合はほぼ無し</p> <div style="text-align: right;">  <p>耐圧防爆 ミスター省エネ (オーバル)</p> </div>	



地政学リスク等により、エネルギー安全保障の重要性が高まる

- 取引用途に求められる高精度な要求に対応
→石油・電力・ガス会社各社の取引用途の流量計納入実績多数あり
- 国内最大級の石油の校正設備保有



脱炭素社会の実現と両立して、既存の火力発電所等の設備が効率的に使用されることで、エネルギー安全保障に貢献



石油校正設備【JCSS校正】パイププルバ



大規模災害時における石油化学コンビナート等の 損壊、火災、爆発を未然に防ぎ維持するため 国土強靱化への取り組みに貢献

- 災害時、石油タンク元弁を緊急遮断弁化し、油の流出を未然に防ぎたいニーズに応える
→「**外部電源不要**」で、停電時でも遠隔から緊急遮断が可能な製品をラインアップ
- 石油コンビナートの生産性向上のニーズに応える
→複数事業者との間での設備の共用、増強、集約化を行うため、**双方向での計測**等が可能な流量計をラインアップ



石油の国内需要は減少傾向にあっても、地政学リスク等も踏まえ、強固な国内供給体制を確保するための一助として、**石油の安定供給に貢献**



超音波流量計Psonic-L4





クロスカントリースキーヤー 宮崎日香里選手

生年月日：1998年8月21日
出身地：長野県下高井郡山ノ内町

主な競技成績

- 2026年 FEC総合優勝(2連覇)
- 2025年 FEC総合優勝(アジアシリーズ)
- 2025年 ワールドカップ初出場(Finland,Ruka)
- 2024年 FIS Cross-Country Far East Cup クラシカル 優勝
- 2023年 特別国民体育大会スキー競技会 インターバル、クラシカル、リレー 優勝
特別国民体育大会スキー競技会 インターバル、クラシカル 2位
- 2022年 全日本選手権 マスタート、クラシカル 優勝

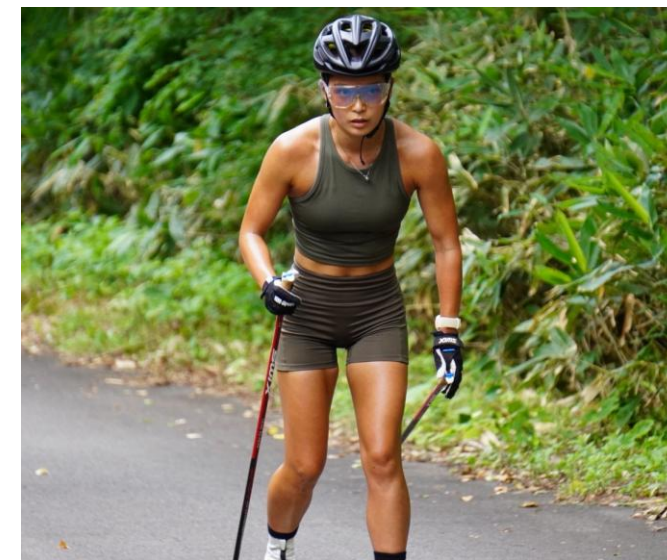


PARTNERSHIP



SPORTS FOR SDGs

全日本スキー連盟
2025/2026シーズン
強化指定選手に選出



属性

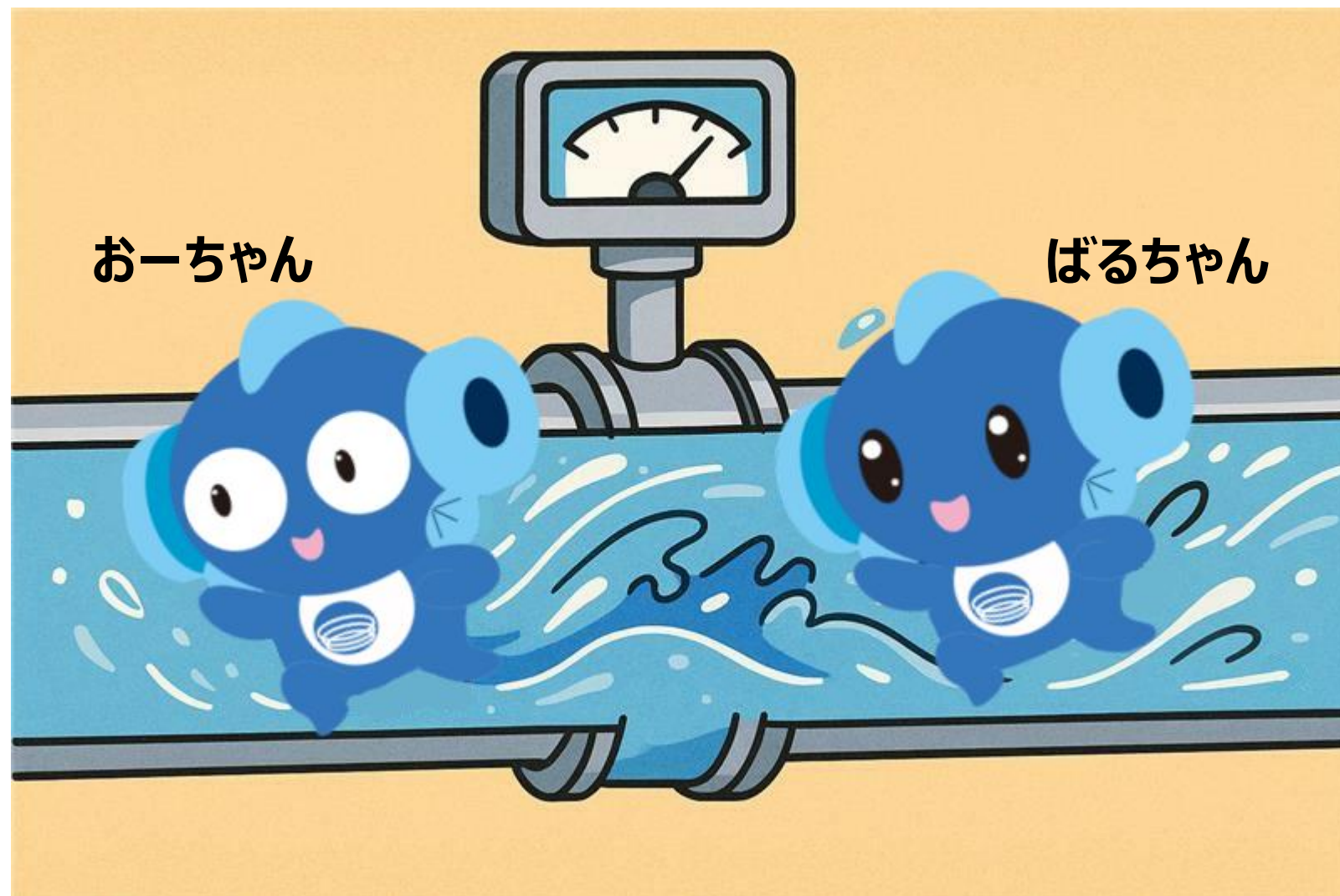
流れの精霊。生き物や環境のために役立ちたいという意思を持った精霊。

特技

水泳、クロスカントリースキー

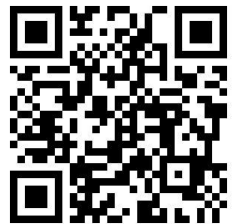
好きなもの

きれいな水、森林、雪



本資料の取り扱いについて

- 本書には、当社グループに関連する見通し、将来に関する計画、経営目標などが記載されています。これらの将来の見通しに関する記述は、将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、当該仮定が必ずしも正確であるという保証はありません。様々な要因により実際の業績が本書の記載と著しく異なる可能性があります。
- 別段の記載がない限り、本書に記載されている財務データは日本において一般に認められている会計原則に従って表示されています。
- 当社グループは、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。
- 当社グループ以外の会社に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しています。



オーバルのウェブサイトはこちら

